



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東  
 コード番号 2675 URL http://www.dynac.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 大和田 雄三 TEL 03-3341-4216  
 CSR推進担当  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 平成25年9月17日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	15,899	0.8	48	-	37	-	58	-
24年12月期第2四半期	16,033	-	55	-	45	-	109	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	8.36	-
24年12月期第2四半期	15.51	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	14,233	3,101	21.8
24年12月期	14,229	3,191	22.4

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 3,101百万円 24年12月期 3,191百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
25年12月期	-	5.00	-	-	-
25年12月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	3.7	940	54.9	900	45.3	270	43.4	38.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期 2 Q	7,033,000株	24年12月期	7,033,000株
期末自己株式数	25年12月期 2 Q	88株	24年12月期	88株
期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期 2 Q	7,032,912株	24年12月期 2 Q	7,032,912株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和をはじめとする経済対策などに対する期待感から円安・株高基調に転じ、景気回復感が緩やかに高まっているものの、デフレ基調の改善や実体経済の回復については、依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、少子高齢化による市場規模の縮小が見込まれる中、お客様の節約・低価格志向に加え、電気料金の値上げや消費税増税の先行き不安などもあり、引続き業界を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

このような環境の下、当社は「お客様の感動満足にもとづく会社の成長」と中期的な成長戦略実現に向けた「事業ポートフォリオの思い切った見直し」、「基盤となる機能・サービスの革新」及び「人材パワーの最大化」に取り組むとともに、「食への安心・安全」の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当第2四半期累計期間における新規出店及びリニューアルは、海鮮酒場「魚盛」、カフェ&バー「PRONTO」、ダイニングキッチン&バー「響」、世界的に有名な“ふわふわオムレツ”のカジュアルフレンチレストラン「ラ・メール・プラール」及びゴルフ場レストランなどの計9店舗を新規出店し、日本初となる大学直営のレストラン「近大卒の魚と紀州の恵み 近畿大学水産研究所」を業務運営受託しました。また、既存の8店舗を「魚盛」、「ワイン倶楽部」、「THE AGING HOUSE 1795」などによりリニューアルする一方、不採算店舗や契約先の事由により6店舗を閉店いたしましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は244店舗となりました。

当第2四半期累計期間における業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)電子クーポンはじめましたキャンペーン」や全社統一によるさまざまな販売促進策の展開などの集客力向上に努め、売上高は15,899百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

利益面では、店舗管理費などのコスト最適化を進め、経常利益は37百万円(前年同期は経常損失45百万円)、四半期純損失58百万円(前年同期は四半期純損失109百万円)となりました。

当該事業の形態別概況は以下のとおりです。

レストラン・バーの業績の概況は、ほぼ前述のとおりであり、売上高は14,537百万円(前年同期比0.9%減)、売上総利益は1,611百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

ケータリングは、売上高は416百万円(前年同期比5.7%増)、売上総利益は39百万円(前年同期比5.6%増)と堅調に推移いたしました。

その他は、サービスエリアの売店収入の低迷により、売上高は946百万円(前年同期比2.5%減)、売上総利益は128百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は14,233百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円の増加となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ59百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金30百万円、売掛金191百万円、原材料及び貯蔵品が27百万円がそれぞれ減少する一方で、短期差入保証金の増加等により「その他」が200百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ63百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が415百万円増加する一方で、敷金及び保証金が274百万円、繰延税金資産の減少等により「その他」が86百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ93百万円の増加となりました。これは主に借入金100百万円、未払金の増加等により「その他」が364百万円それぞれ増加する一方で、買掛金が321百万円、未払法人税等が67百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ89百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が93百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より0.6ポイント減少の21.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ30百万円減少の367百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、124百万円(前年同期は121百万円の資金獲得)となりました。これは主に売上債権の減少額191百万円による資金獲得及び減価償却費の計上342百万円と仕入債務の減少額321百万円、法人税等の支払額92百万円の資金使用によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、220百万円(前年同期は56百万円の資金使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出364百万円、敷金及び保証金の差入による支出84百万円、店舗等撤退による支出25百万円と敷金及び保証金の回収による収入271百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、64百万円(前年同期は110百万円の資金使用)となりました。これは主に短期借入金の純増加額110百万円と長期借入金の返済による支出10百万円、配当金の支払額35百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	397,853	367,000
売掛金	1,814,547	1,622,942
商品	45,375	35,407
原材料及び貯蔵品	192,857	165,851
その他	863,080	1,063,563
貸倒引当金	14,000	15,000
<b>流動資産合計</b>	<b>3,299,714</b>	<b>3,239,765</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	4,120,427	4,348,658
その他(純額)	462,386	649,525
<b>有形固定資産合計</b>	<b>4,582,813</b>	<b>4,998,183</b>
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	104,457	105,580
敷金及び保証金	5,354,704	5,080,014
その他	1,335,120	1,249,114
貸倒引当金	447,174	439,136
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>6,242,650</b>	<b>5,889,991</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>10,929,921</b>	<b>10,993,756</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,229,636</b>	<b>14,233,522</b>

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2,296,928	1,975,638
短期借入金	1,250,000	1,360,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	545,000
未払法人税等	141,000	74,000
未払費用	1,837,885	1,889,596
役員賞与引当金	16,800	9,000
資産除去債務	24,340	-
その他	614,159	968,524
<b>流動負債合計</b>	<b>6,201,113</b>	<b>6,821,759</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,780,000	2,245,000
退職給付引当金	1,179,121	1,184,112
役員退職慰労引当金	73,891	39,189
資産除去債務	715,700	743,420
その他	88,583	98,483
<b>固定負債合計</b>	<b>4,837,296</b>	<b>4,310,205</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,038,409</b>	<b>11,131,965</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	483,335	389,390
自己株式	99	99
<b>株主資本合計</b>	<b>3,190,036</b>	<b>3,096,091</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	1,190	5,465
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,190</b>	<b>5,465</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,191,226</b>	<b>3,101,556</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,229,636</b>	<b>14,233,522</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,033,444	15,899,745
売上原価	14,387,097	14,119,762
売上総利益	1,646,347	1,779,982
販売費及び一般管理費	1,701,420	1,731,226
営業利益又は営業損失( )	55,072	48,755
営業外収益		
受取利息	387	639
受取配当金	176	191
営業補償金	33,831	196
償却債権取立益	-	6,000
その他	1,466	1,168
営業外収益合計	35,861	8,196
営業外費用		
支払利息	24,642	17,831
その他	2,071	1,822
営業外費用合計	26,714	19,654
経常利益又は経常損失( )	45,925	37,297
特別利益		
固定資産売却益	5,000	49
特別利益合計	5,000	49
特別損失		
固定資産除却損	18,875	42,146
店舗等撤退損失	18,322	26,636
その他	-	270
特別損失合計	37,197	69,053
税引前四半期純損失( )	78,123	31,706
法人税、住民税及び事業税	32,529	31,937
法人税等調整額	1,606	4,863
法人税等合計	30,923	27,073
四半期純損失( )	109,047	58,780



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	78,123	31,706
減価償却費	349,352	342,730
店舗等撤退損失	18,322	26,636
貸倒引当金の増減額( は減少)	745	848
受取利息及び受取配当金	563	831
支払利息	24,642	17,831
売上債権の増減額( は増加)	302,753	191,605
たな卸資産の増減額( は増加)	53,764	36,973
仕入債務の増減額( は減少)	405,832	321,289
未払費用の増減額( は減少)	198,935	48,007
その他	126,334	79,651
小計	190,969	231,154
利息及び配当金の受取額	563	831
利息の支払額	20,832	14,127
法人税等の支払額	49,529	92,937
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>121,170</b>	<b>124,920</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	271,481	364,621
敷金及び保証金の差入による支出	15,661	84,744
敷金及び保証金の回収による収入	307,379	271,404
店舗等撤退による支出	42,912	25,690
その他	33,732	16,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>56,406</b>	<b>220,580</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	90,000	110,000
長期借入金の返済による支出	-	10,000
配当金の支払額	20,035	35,193
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>110,035</b>	<b>64,806</b>
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	45,272	30,852
現金及び現金同等物の期首残高	298,705	397,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	253,433	367,000

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。